

SUN

Soka Univ. News
Soka University News

vol. 71
2011 Autumn

創価大学ニュース 71号
2011年10月6日発行(年4回発行)



特集1

受験生のための

創大・短大情報

現役学生の合格体験や、
創大・短大の新しいチャレンジが盛りだくさん!!

特集2

キャリアセンターへ行こう!

学生の未来とキャンパスライフを結ぶ

左:創価大学経済学部 神立孝一 学部長
右:経済学検定試験大学対抗戦8連覇を達成した経済学理論同好会 信国桂子 部長
(経済学検定試験8連覇の記事は本誌15ページ)

現役在學生に聞いた

合格体験

いよいよ入試のシーズン。現役の創大生・短大生に自身の体験を通した、受験のアドバイスを語ってもらいました。受験生のみなさん！必見ですよ～！！

一週間の予定をしっかりとてる。 “勉強計画ノート”で受験を乗り越えました！

私は勉強が大の苦手で高校の定期テストはいつも最下位でした。しかし「何のために大学に行くのか」と自分に問い、苦しい受験期を乗り越えることができました。私の勉強方法は、月曜から金曜までの5日間の勉強の目標をノートに書き、勉強後印象に残すため、問題の感想や覚えたことを、そのノートにメモするというものです。土・日は5日間できなかった部分をやる“借金返済日”とし、日曜日には反省を踏まえ、次の1週間の計画を立てました。それを一般入試が終わるまで続け、当時の“勉強計画ノート”は今わたしの宝物となっています。模試ではE判定が続いていましたが「A判定の人よりも合格したときの喜びは大きいはず」とプラスに捉えました。苦しいことは全て自分を大きくするためにあるのです。創大合格に必要なのは何があっても最後まで諦めない事。創大に来れば最高に価値のある学生生活が待っています！

皆さんも
がんばってください！！



創大生
経済学部 経済学科 1年
愛知県出身 県立半田東高校卒
杉浦 美帆さん



センター試験対策を 利用することもひとつの手です！

私が創価女子短期大学を受験しようと思ったのはまさに年が明けようとしている年末でした。国公立大学を目指し、センター試験の追い込みをしていた時で、短大の入試の勉強は全くしていませんでした。私が通っていた高校自体も国公立大学の受験を重視していたのでセンター試験に向けてかなり力を注いでいました。朝早くから夜遅くまでの課外授業、毎週のようにある模試や夏休みの集中課外などがありました。センター試験を終えてから短大の過去問題を解き始めましたが、短大の入試問題がセンター試験と同じでマーク形式だったこともあり、すんなりと勉強することができました。ただ、国語の場合は同じ形式でも、内容はだいぶ違いましたので、国語の勉強においては自分でノートを作りました。今こうして短大に通っていますがこの高校3年時の受験生活は決して無駄だとは思っていません。仲間や熱心な先生方の励ましを受けての受験生活は大きな自信に繋がっています。



短大生
英語コミュニケーション学科 1年
熊本県出身 県立人吉高校卒
中村 友紀子さん

空き時間を有効活用しつつ 一冊の問題集を徹底的にやり込みました！

高校では1年のときから受験に向けて勉強していましたが、3年の秋まで自分のやりたいことや、行きたい大学がなかなか見つかりませんでした。しかし、勉強していれば自分の可能性が開けると信じて、熱心に勉強に取り組んでいました。私は主に家で勉強することが多かったのですが、通学時間などの空き時間は少しでも有効に使うように心がけていました。勉強の方法としては、問題集を何冊も解くよりも、一冊の問題集を徹底的にやり込む方が効果的だと思います。現在はGCPで英語を中心に勉強しながら、学部の勉強にも精一杯取り組んでいます。日々の勉強の中で大変なときもありますが、海外の大学院への進学を目指して、真剣に勉学に取り組む仲間とともに勉強しています。何のために勉強しているのかわからなくなるときもあると思いますが、努力し続ければ必ず道は開けると信じて頑張ってください。創価大学に来て本当によかったと思っています。受験生の皆さんを応援しています。



創大生
工学部 環境共生工学科 2年
栃木県出身 県立石橋高校
菅井 洋太さん

過去問題を参考に 問題の傾向を把握することが合格への鍵！

創大受験を決意し、公募推薦入試に向けて、受験勉強を開始しました。数学ⅢCの範囲を通して創大の入試問題が例年どのような傾向にあるのかを把握しながら日々の勉強に励みました。問題の例年の傾向や出題形式を把握し、勉強していくことが合格への重要な鍵となると思います。「創大に絶対に合格するんだ！」という強い気持ちを持ち続けて受験に挑戦をした結果、念願の合格を勝ち取ることができました。創大は世界5大陸との交流が盛んであり、語学を始め、様々な仲間との出会いや貴重な経験をする事ができます。「創価大学は、大学に行けなかった人々のためにこそある」と創立者がおっしゃっていますが、世界平和に貢献するリーダーに成長していきたいです。未来の創大生の皆さん、自分を信じて受験関門を突破し、必ず創価大学に入学をして、夢を叶えてください！応援しています！



創大生
工学部 生命情報工学科 2年
青森県出身 県立八戸西高校
佐藤 裕介さん

参考書等を繰り返し読み 基礎を固めることが大事！

私が受験勉強を始めたのは、高校3年生の春でした。私の場合、創価女子短大一本にしかばっていたので、公募推薦の試験に必要な英語を中心に勉強をしました。高校で使っていた参考書や問題集を繰り返し読み、解くことが大切だと高校の先生のアドバイスを受け、基礎を固めることを重視しました。勉強すればするほど不安になったり、指定校推薦などで次々に友人の進路が決まっていくことに焦ったりしたこともありました。そんな時に私が思い出したのは、オープンキャンパスに訪れたときに出会った先輩の輝いている姿でした。「私もあのキャンパスに通って、先輩方のように輝きたい！！」と改めて決心することができ、前向きに勉学に取り組むことができました。勉学面では、とにかく基礎を固めること。精神面では、自分には無理だなんて絶対に思わないこと。千里の道も一歩からです。少しずつでも前に進むことで、私は憧れの創価女子短大に合格することができました。



短大生
現代ビジネス学科 1年
埼玉県出身 西武台千葉高校卒
牧野 彩香さん

文学部が変わる

2012年度から創価大学の教育内容が変わります。
時代を先取りした教育改革で学びたいあなたを徹底的にサポート！
今回は文学部の変更点と短大のiPad配付について特集いたします。

NEW

2012年度入学生より 英語デュアルディグリーコースがスタートします！

文学部の特別プログラムであるデュアルディグリー（以下、DD）コース。「2つの学位」を意味するこのプログラムは、創価大学在学4年間のうち、2年間で留学し、留学先の大学と創価大学で所定の単位を修めることにより、卒業時に2大学の学位を取得することができます。昨年度初めて卒業生を送り出した中国語DDコースに続き、2012年度からは英語DDコースがスタートします。このコースでは、世界を舞台に通用する英語力が身に付きます。英語科教員をはじめ、国際的な企業への就職や創大卒業後、大学院の進学等様々な分野で力を発揮できるでしょう。

バッキンガム大学紹介

バッキンガム大学は、ロンドンから北西へ約100キロ、バッキンガムシャー州の歴史的な建築物も残る一方で豊かな自然に囲まれた、勉学に励むには良い環境です。学生数は約1300人。現在、イギリス人をはじめ世界50カ国以上の留学生が学び、学生満足度調査において6年連続英国1位。多くのクラスは少人数制をとっており、そのきめ細やかな指導に定評があります。1976年、当時教育科学大臣であったマーガレット・サッチャー（元英国首相・元バッキンガム大学総長・現名誉総長）により創立された英国唯一の私立大学です。学内は自立・独立の精神風土に満ちており、その精神は「We Are Flying On Our Own Wings」（自らの翼で飛ぶ）という校訓に象徴されています。創立時に採用されたオックスブリッジ方式（教員：学生の人数比＝1：8）を堅固に貫く、徹底した「学生第一主義」。キャンパス内には各種オフィスが設置され、行けば丁寧に対応してくれます。



イギリスの魅力

日本で接する英語はアメリカ英語が中心。しかし、世界的には、共通語として使用されている英語はほとんどの場合、イギリス式を基本としています。クイーンズ・イングリッシュを学べることは、英語学習者にとって大変魅力的。しかも、バッキンガム宮殿など歴史的建造物も多く、大英博物館をはじめ、多くの博物館、美術館が無料で開放されているのも魅力のひとつです。

英語デュアルディグリーコース概要

留 学 先		イギリス・バッキンガム大学	
スケジュール	1年次	4月 ガイダンス 7・8月 TOEFL iBT試験受験	9月 選抜試験（書類選考・面接） 1月 バッキンガム大学へ出発
	2年次	1月～12月 バッキンガム大学で4タームに渡り履修	
	3年次	1月～12月 バッキンガム大学で4タームに渡り履修 12月 帰国。就職活動開始	
	4年次	4月～3月 創価大学 3月 卒業。創価大学・バッキンガム大学の学位取得	
留学に関わる費用		レート を1ポンド＝133円で計算した場合 ●授業料：£11,250(1,496,250円)×2年間 ※授業料は、毎年見直しが行われます。 ●寮 費：£4,400～4,800(585,200～638,400円) ※2年目からはアパート（光熱費込） ●保証金：入学時のみ、修了時返金 ●ビザ申請費用：約35,000円 ●渡航費：約100,000円 ●食 費	
奨 学 金 制 度		●本学の授業料納入を条件に、バッキンガム大学の授業料のうち毎年80万円を助成 ●保証金を全額助成 ●海外留学生保険を2年間全額助成 ●更に、特別奨学金を助成予定	

Interview インタビュー



文学部 4年
中国語デュアルディグリーコース
2期生
鯨岡 浩子さん
福島県出身
（県立磐城桜が丘高等学校卒）

DDコースの魅力を教えてください。

何と言っても「2年間で海外で過ごせる」ことです。1年目は語学を習得する期間、2年目は応用期間だったと思います。上海万博にボランティアに行ったDD生もいましたし、私はスーパーの家電売り場に飛び込んで、無償で良いから販売員をさせてほしいとお願いし、実現しました。2週間の期間中、中国語のパンフレット等で商品について調べ、他の店員に聞きながらお客様と接した経験は、日本でのアルバイトとは比べものになりません。就活でも評価されましたし、内向的だった自分の性格を変えられたことも、留学が2年間あったからこそだと思います。

現在、帰国して半年余り。就職活動も無事終えたと言いましたが、DDコースで得たものは何ですか？
「努力すれば必ず道が開ける」という自信がついたこと

です。勉強が大変だった時も、就活中も、先生方に心配をかけたり不安になったこともありますが、うまくいかない時に「頑張ればこれから道が開ける」という楽しさを感じられるようになりました。留学中は、HSK（漢語水平考試）9級取得をはじめ、成績も300人いる留学生の中でずっと2位をキープできました。創大に戻ってからは、ダ・ヴィンチ賞をいただくこともできました。2年間でDD生同士の絆が深まり、帰国後も常に情報交換し、励まし合えたことが力になっています。

最後に、現在挑戦していることと、これからの目標を教えてください。

今は、卒業論文の完成を目指すとともに、後輩のサポートに全力を尽くしています。先輩がしてくれたように、1年生の勉強合宿にお手伝いに行ったり、現在留学中の後輩に、就活のために中国にいるうちに準備しておくべきことを伝えたりしています。内定をいただいた国際企業で貿易部に入ることを目指して、中国語だけでなく英語も勉強していきます。



世界を見て、自分の未来を創ろう

文学部がメジャー制度へ



2007年度、文学部はこれまで複数にわかれていた学科を一つにして「人間学科」とし、2年次から7つの専修に分かれる体制となりました。そして2012年度より「1学科11メジャー1専修」へと進化を遂げます。

この改革は「**外国語教育**」「**専門教育**」「**キャリア教育**」「**幅広い教養**」という4本の柱があります。

外国語教育

これまでの英語教育をさらに充実する事に加え、中国語・ロシア語などのプラス1の語学力の習得と異文化理解力を育成します。英語のデュアル・ディグリーコースも始まります。

専門教育

2011年度から始まった「社会福祉専修」を除く7つの専修を、11のメジャー(専攻分野)に再編成する事で、これまでは選択した専修のカリキュラムに従って勉強する仕組みだったものを、学びたいことを自分で選択できる、より柔軟なシステムへと変更します。

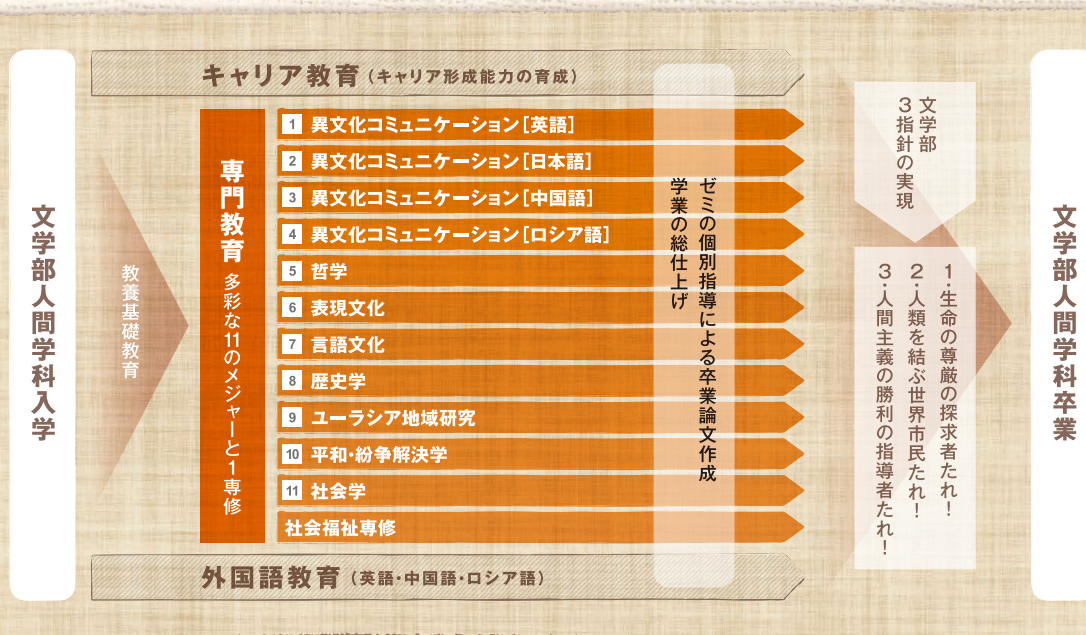
キャリア教育

選択した専門分野を進路と結びつける場として「アカデミックスキルの応用」という科目を設置。自身のキャリアを考えながら、専門的な勉強が行えるようになります。

幅広い教養

様々な学問の入門として、1年次に「イントロダクトリー」というカリキュラムを設置しました。1年次の最初から、文学部ならではの多様な学問に触れる事ができるようになります。

「人間学科」は、人間を学ぶ中で、人間を鍛える学科です。人間力と専門知識を兼ね備えた人材を育成していきます。



創価女子短期大学では2012年度より新入生全員に

iPadを配付！

2012年度から新入生全員に配付するのはWi-Fi版のiPad2です。全学単位での導入は大学・短大では全国的にも初めてのケース。全国の大学・短大関係者から熱い注目を浴びています。

Wi-Fi版なので使用可能な無線LAN環境の中であれば、短大以外でも使用でき、卒業後も短大に返却する必要はありません。

現在、紙媒体で配付している資料のデジタル化や授業用の独自アプリの開発などを検討中。また導入に向け短大校内のアクセスポイントの拡充を行い、準備を進めています。



学生の未来とキャンパスライフを結ぶ

キャリアセンターへ行こう！

キャリアセンターは、2004年9月に就職部が発展し開設しました。「学生生活全てがキャリアデザイン」をコンセプトに掲げ、学生の皆さんに「進路」や「学生生活の目標」「学生時代に身に付けて欲しい力」などのヒントや最新情報の提供など、学生の皆さんが有意義な学生生活を過ごすための「情報発信基地」を目指しています。キャリアセンターは、学生生活を「社会に出るための準備期間」と定め、学生の皆さんの将来・夢と学生生活をつなげるサポートを提供しています。



キャリアサポートシステム

キャリア教育科目

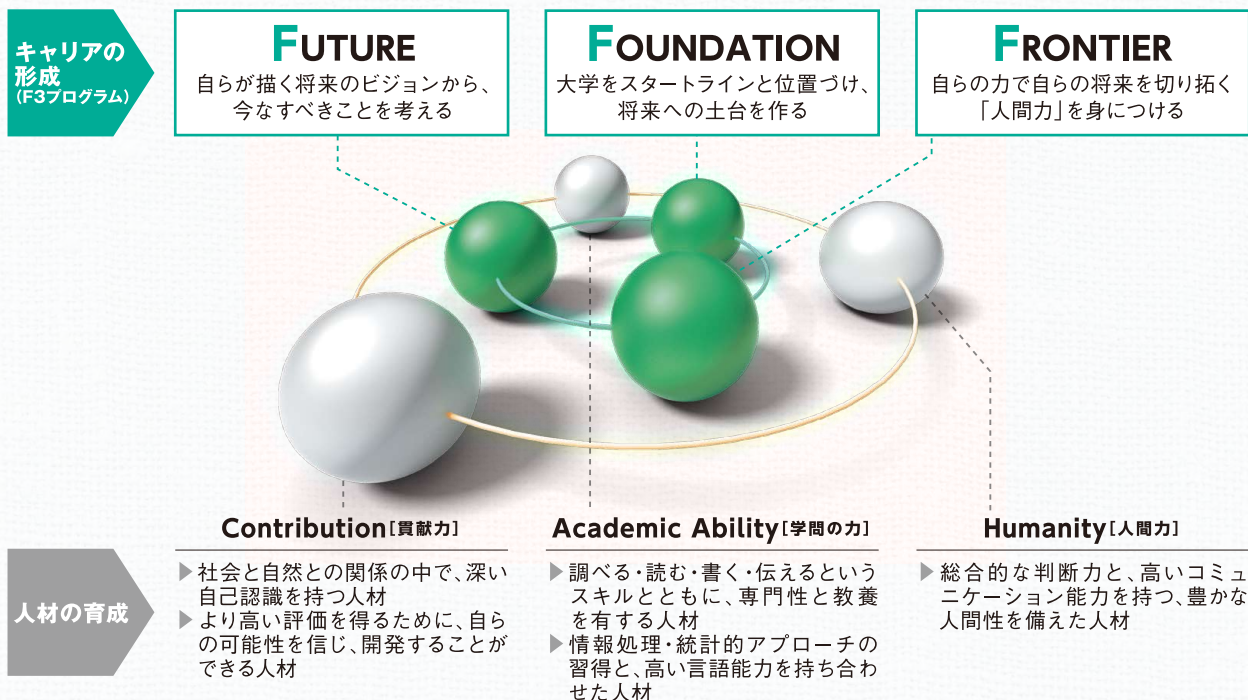
- **キャリアデザイン基礎** (2単位)
「社会」「仕事」「自分」の視点から、卒業後のキャリアデザインと大学生活の計画を、自立して行う力を養います。
- **キャリアデザインと職業** (2単位)
民間企業・公的機関・教員等、さまざまな職業・職種で活躍するOB・OGの話から、仕事への理解を深め、職業選択の幅を広げます。
- **ワールドビジネスフォーラム** (2単位)
グローバル企業・国際公務員等、世界中で活躍するOB・OGの話から、世界を舞台に働くためのキャリアをプランニングします。
- **インターンシップ** (2単位) ※短期は1単位
社会で実際に仕事体験をする中で、進路選択の材料を得たり、働くことへの理解を深めます。単位認定のプログラムを実施(1年次より)。
- **キャリアビジョンⅠ** (2単位)
社会人基礎力の習得を目的に、PBL (Project Based Learning) を通し、社会で活かせる実践力を養います。
- **キャリアビジョンⅡ** (2単位)
卒業後「即戦力」として活躍するために必要なコミュニケーション力の習得と、卒業後のライフプラン作成をめざす授業です。

キャリアプロジェクト

- **フレッシュマンプログラム**
「大学生活充実計画」を考える、新入生キャリアデザインプログラムです。
- **Design Your Dreams**
4年生主催、1・2年生のための進路応援イベントです。
- **CSS・RSS** (学生ボランティア)
進路が決まった4年生100名以上のボランティアスタッフ。先輩のキャリア教育と就職活動の支援を行います。
- **GLC** (グローバルリーダーカレッジ)
「Global」「Leader」の二つをキーワードに、社会を牽引する人材を育成するキャリアセンター主催の課外講座です。今年度で三期目を迎え、総勢約100名の学生が受講しています。

F3プログラム

創価大学が実施する、**自分の未来を(self-Future)、自分で切り拓く力をつけ(self-Frontier)、自身の基礎を築く(self-Foundation)**ことを目的とした、あなたのキャリアを形成するプログラムです。



人材の育成

施設紹介

事務室



受付では資格試験など各種講座の申込みや、就職活動における公欠届の発行などの事務窓口、来客者の受付も行なっています。また就職相談や1・2年生の皆さんの進路相談の受付、OBOGの連絡先が分かる勤務先カード閲覧申請もこちらで行っております。受付の横には、「進路決定報告書」や「後輩へのアドバイス」など、過去に就職活動に全力で取り組んだ卒業生の貴重な情報を収集することができます。

PCコーナー



室内にはパソコン30台を設置し、学生の皆さんが知りたい情報や就職相談で知った企業のHP検索や就職サイトの閲覧など、即座にキャッチできるようになっています。また、卒業生の方の合格体験記や新着の求人票、地方Uターン資料も豊富にあり、その情報をもとに、東京商工リサーチの50万社に渡る企業情報も検索できます。

進路相談コーナー



就職活動や進路選択で進めていく上で何よりも有効なのは一対一の就職相談です。「就職活動の進捗状況はどうか」「エントリーシートの添削」「あの企業の選考方法は？」「面接対策をして欲しい」等、就職のノウハウに特化した質問から、「何をすればいいかわからない」「とにかく不安なので来ましたが」という抽象的な質問まで多様な相談を受け付けています。

キャリア・セミナールーム



キャリアセンター主催の各種イベントを開催するスペースです。室内ではプロジェクターやVTR・DVDなどの音響機器を完備。また室内には可動式の椅子・机を設置し、小単位の懇談会やグループディスカッション・模擬面接など、キャリアの為にあらゆるイベントが開催可能です。企業の方を招いての講演会・説明会の開催や、OBOGとの懇談会、就職対策講座など、各種イベントが随時開催されています。

キャリアデザインステーション

日常の忙しい学生生活の中で、立ち止まって「キャリア」「働く」ということを考え、触れ、話す「駅—STATION」をイメージして設置しました。仕事や資格に関する書籍、新聞・ビジネス誌・専門誌を設置

し、閲覧スペースを設けています。また進路について悩んでいる学生や、就職活動を終えた学生や資格試験に合格した学生等と気軽に話せる相談の場としても提供しています。

充実したキャリアサポートと 学生主体の取り組み

学生生活から就職支援まで一人ひとりに応じてトータルサポートを行っているキャリアセンターでは、1年から受講できるガイダンスや講座が開かれ、早くから就職活動に備えることができます。約150名の4年生がCSS(キャリアサポートスタッフ)、RSS(リクルートサポートスタッフ)として、進路・就職活動に悩む後輩の支援に励んでいるのも特徴の一つです。キャリアセンターとCSS、RSSのメンバー、卒業生の協力を得て、現場の声を直接見聞きし、就職した先の未来を明確に描くことが可能です。

手厚いサポートで輝いた留学と就職活動。 経験を活かして後輩を支えたい

創大に入学してすぐ先輩の勧めでキャリアセンター主催のグローバルリーダーカレッジ(GLC)に参加しました。GLCでは、私が苦手としていた「自ら考えて物事の本質を見抜く力」「論理的思考」を鍛えられました。仲間でありライバルでもある同期と切磋琢磨してビジネスコンテストや留学の勉強に必死に取り組めたことで、大きく成長できました。タイ留学帰国後、就活講座や就活合宿に積極的に参加。ESの書き方や面接練習など1から全て教えてもらいました。不安や悩みはすぐCSS・RSSの先輩に相談し、安心して自信を持って就活に挑むことができました。温かくいつでも受け入れてくれる先輩方の助けなしにはできなかった就活だと思います。今後は、キャリアセンター職員の方や先輩方から受けた恩を後輩に返すべく、CSSの一員として卒業まで後輩のサポートに走り抜きたいと思います。



創価大学文学部 4年
三谷 悦子さん
内定先:テルモ株式会社

キャリアセンターをフル活用してつかんだ内定

1年次よりGLC、ワールドビジネスフォーラム等の機会に恵まれ、将来をイメージしながら学生時代を過ごす事ができました。寮、クラブ、留学やゼミの活動に真剣に打ち込む事ができたのも、自身の夢や目標を常に意識し続ける事ができたからです。そして学生生活の総仕上げの就職活動でも、エントリーシートの添削から面接の練習、また就活合宿まで、キャリアセンターの方々の手厚いサポートを受け、無事内定を頂く事ができました。選考までに面接練習をしていただき、前日に挨拶に行き気を引き締め、自分を奮い立たせていた感覚は今でも忘れません。今後は一人でも多くの後輩が、自身の納得できる使命の道に進む事ができるよう、全力でサポートをしていきます。



創価大学経済学部 4年
盛田 連司さん
内定先:日産自動車株式会社

日経HR「就業力」学生アンケート518大学中

創価大学が19位!!

日経HR「日経CAREER MAGAZINE」編集部が、就職情報サイト「日経就職ナビ2012」の登録会員にインターネット上でアンケートを実施した結果、有効回答518大学の中で創価大学が19位となりました(2011年6月9日発行「特別編集・日経CAREER MAGAZINE」掲載)。同誌によると、ランキングスコアの算出方法は、①学業・課外活動・交友関係・就業観・就活基礎力・就職率に関するアンケート、②日経就職ナビ

で実施した模試の結果、③就業力が伸びると思われる大学の取り組み、④就職率をそれぞれポイント化、ランキングしています。また、本学学生へのアンケート項目の回答では、「留学体験があるか」が30%(6位)、「先生に質問するか」が20%(6位)、「(部活・ゼミなどの)合宿に参加したことがあるか」は90%(8位)、「学生生活は楽しいか」は100%(1位)、「学内に友人はいるか」も100%(1位)、「学外に友人はいるか」も100%(1位)となっており、学生の本学へ対する満足度の高い評価となりました。

アンケート

留学体験があるか	30%
先生に質問するか	20%

創価大学創立40周年、創価女子短期大学創立25周年 記念寄付募集のご案内

皆様にすでにご案内をさせていただいておりますが、創価大学創立40周年、創価女子短期大学創立25周年記念事業を推進するために、2012年1月31日まで記念寄付募集事業を行わせていただいております。

現在まで多くの皆様からご芳志を賜っております。心より御礼を申し上げます。

どうか、更なる推進に向けてのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

創価大学財務部

受付期間 2012年1月31日まで

目標金額 20億円

募集金額 1口10,000円 ※期間内であれば何度でもご参加いただけます。

対象者 ●創友会 ●白鳥会 ●会友会・保護者 ●通教生 ●校友会(創大寄付者)
●趣旨に賛同してくださる皆様 ※どなたでもご参加いただけます。

注意 事項

寄付募集期間中に、ご子弟等が本学を受験される場合は、ご寄付をお受けできないことがございますので記念寄付募集事業コールセンターにお問い合わせください。

所得税の寄付金控除について

創価大学に対する個人様からのご寄付は、特定公益増進法人への寄付として所得税法上の優遇措置(寄付金控除)の対象となります。

ご寄付を頂いた後、大学より領収書と文部科学省発行の証明書(写)を送付しますので、所轄の税務署にて確定申告書に添付してください。

寄付金控除額
(総所得金額の40%が限度)

寄付金額

2,000円

※その年の寄付金の合計額から2,000円を差し引いた金額が「寄付金控除額」として、所得税から控除できます。
※寄付金控除を税額から控除することも検討中です。決定次第ホームページなどでご連絡いたします。
※東京都にお住まいの方に限り、個人住民税も控除の対象となります。

記念寄付のお振込み方法について

記念寄付はゆうちょ銀行の口座にお振込みし
ていただきます。

お振込み方法は右記のとおりになります。

※振込依頼書の新規申し込み・再請求は以下のコールセンター
に申し込んでください。

方法1 ゆうちょ銀行からお振込

▶専用の払込取扱票を使用した場合、手数料は無料

方法2 他金融機関(都市銀行など)の窓口からゆうちょ銀行にお振込

▶手数料はご本人負担

方法3 創価大学ホームページからお振込(24時間対応)

▶インターネットバンキング払い(手数料は無料)

※既に金融機関のインターネットバンキングを利用されていることが条件となります。

▶クレジットカード払い(手数料は無料)

※使用できるクレジットカードはホームページでご確認ください。

問合せ先

学校法人 創価大学 財務部財務課

創価大学記念寄付募集事業コールセンター



0120-996-422

平日 / 10:00~16:00
(土、日、祝日除く)



0120-988-165

(24時間対応)

くわしくは、ホームページの説明をご覧ください。

http://www.soka.ac.jp/about/contribution/40_25.html

顕彰について

記念寄付事業に参加された方は、「新総合教育棟」の寄付者銘板にお名前を刻印し、顕彰させていただきます。寄付者銘板への刻印は、寄付者ご本人もしくはご夫婦連名になります。後日、受領書とともに「ご芳名カード」をお送りいたします。

寄付募集の目的



「新総合教育棟」の建設

「新総合教育棟」建設事業は、2013年の完成を目指して、旧中央体育館、旧大教室棟、福利厚生棟の跡地に、文系A棟のほぼ倍の規模の建物として着実に進んでおります。



エントランスホールに40周年記念寄付者銘板を設置する予定です。

創価大学の教育研究の 環境整備・充実



- ①新「学生センター」の建設着工
- ②第一グラウンドの改修、整備
- ③男子寮「友光寮」の全面改修
- ④教室のマルチメディア化
- ⑤図書館など諸施設の整備
- ⑥省エネルギー対策の推進

創価女子短期大学の教育研究の 環境整備・充実



- ①200番教室を全面リニューアル(大型スクリーン設置など最新の設備を導入)
- ②コンピュータ室を最先端の情報教育環境に改修
- ③2012年より新入生全員にタブレット型端末「iPad」を配付し、新たな教育方法の展開を推進

学生奨学金制度の充実

奨学金制度におきましては、経済的支援を目的として本年度より創価大学を目指している受験生に、入学試験の前に合格を前提として給付予約する「**創友給付奨学金**」制度(4年間授業料半額免除)を新設し、**200名に給付を決定**して新入生を迎えました。従来から実施し

ている在学生対象の「**給付奨学金(学費減免)制度**」も約**3倍の学部230名・短大30名**へと大きく拡充しました。更に東日本大震災「授業料減免」特別措置も決定し実家が被災した学生に給付することも出来ました。今後も奨学金制度の拡充に努めてまいります。

2011年度 保護者教育相談会開催!



創価大学では、この秋、
2011年度の保護者教育相談会を
全国各地で開催します。

この相談会は2003年度から毎年行っているもので、今年度は全国34会場(35回)に本学教職員が伺います。昨年度については合計で988名の方が参加され、各地で在籍中の学生の保護者の皆様とのコミュニケーションの場として、特に「就職・進路」「学生生活」「授業の履修・成績」等について、質問や相談をお受けし、地方での開催に好評が寄せられました。創価大学はこれからも魅力ある大学を目指して、保護者の皆様のご期待に沿うように、学生の勉学や生活の支援に全力で取り組んでいきます。

SCHEDULE

開催予定日	会場
	※会場・時間の詳細につきましては、保護者の方へ別途通知をお届け致します。
10月22日(土)	1 東京(創価大学) 2 千葉 3 茨城(水戸)
10月23日(日)	
10月29日(土)	4 秋田 5 岩手 6 福島
10月30日(日)	7 青森 8 宮城 9 栃木(宇都宮)
11月 3日(祝・木)	10 東京(23区) 11 群馬(高崎) 12 沖縄
11月 5日(土)	13 高知 14 宮崎
11月 6日(日)	15 香川(高松) 16 大分
11月12日(土)	17 岐阜 18 静岡 19 岡山
11月13日(日)	20 愛知(名古屋) 21 神奈川(横浜) 22 兵庫
11月19日(土)	23 島根 24 大阪 25 北海道(旭川)
11月20日(日)	26 広島 27 大阪 28 北海道(札幌)
11月23日(祝・水)	29 石川 30 新潟
11月26日(土)	31 長崎 32 埼玉 33 福井
11月27日(日)	34 福岡 35 山梨(甲府) 36 京都

■創価女子短期大学の保護者教育相談会開催予定:

1 東京(創価大学) 8 宮城 10 東京(23区) 20 愛知(名古屋) 27 大阪 28 北海道(札幌) 34 福岡

研究室紹介

「人間主義に基づいた経営学」を実践する経営学部、「人間教育の最高学府」を志向する教育学部を紹介します！

経営学部



創価大学経営学部(会計・税務教育センター長)

平岡 秀福 教授

1985年	創価大学経営学部卒業(11期)
1987年	筑波大学大学院 経営・政策科学研究科(経済学修士) 創価女子短期大学、経営学部専任講師、助教授を経て、現職。
2007年 ～ 2008年	ニューヨーク州立大学バッファロー校 ジェイカブズ・マネジメントセンター 会計法律学科 客員研究員
2009年	明治大学より博士(経営学)を取得

著書『企業と事業の財務的評価に関する研究-経済的利益とキャッシュフロー、セグメント情報を中心に-』で日本経営分析学会より学会賞を受賞！

受賞した著書の内容と研究分野を教えてください。

企業とビジネスのパフォーマンスを測定する諸指標間の関係性を解明しました。さらに、理論的な諸モデルの提示にとどまらず、それらを実在する企業に当てはめ、活用企業(たとえば、パナソニック、日立、花王など)へのインタビューに出向いたり、関連記事、アニュアル・レポートなどを参考にしたりして、実務的に裏付け、それらをまとめた私の3つの論文(本書に日本語は掲載)を日本のマネジメントとして英文で海外に紹介したことも高く評価されたのだと思います。私のライフワークは企業と事業の価値測定と向上の研究ですが、牧口価値論の視点からいうと、経済的価値は利の価値に相当すると思います。私の研究分野の一部はこれの一つの評価を得ましたが、近年の組織に期待されるのは社会的責任(企業に限定するとCSR)ですので、創価教育に携わる者として、利・美・善の価値とCSRの関連性を学生と共に経営学の視点から解明していこうと思っています。

教育と研究に対する考え方を教えてください。

それはとても大切です。私は常に最先端の研究をおしみなく学生に伝えたいと思っていますし、学生にもそれを期待し、頑張ってくれるようアドバイスしています。研究経験があっても、一人では何もできません。学生から多くのことをいつも学ばせていただいています。創価大学は、それを可能にする学生中心の大学といえます。

最後に今後の抱負を！

いまだ志半ばです。教育と研究のシナジー(相乗)効果を最大限に生み出すべく、創価大学を世界一にするため、学生とスクラム組んで、さらに精進していきたいと考えています。

教育学部



教育学部 教育学科

高野 久美子 教授

主な担当	学校カウンセリングⅠ・Ⅱ、大学院
主な研究テーマ	・子どもの育ちについて、地域支援、学校支援、保護者支援の心理援助を軸に考える ・子どもが育つための援助について知識を深める

学校現場に基づいた実践例をもとに、教育研究を行っています！

日頃の研究

学部のゼミ生は、教員志望のメンバーが大半です。ゼミ生たちは、インターシップ、スクールサポーターなどに関わり、教育現場に入っています。その中で出会う、学校で苦戦している子どもたち1人1人の対応について、皆で討議して、考えていきます。また、発達障害の基本的知識や具体的な支援方法についての文献を研究する他、予防的な支援として有効な構成的グループエンカウンターやうつ予防プログラム等を実際に経験したり、施設見学など多様な取り組みを行っています。

今後の目標

教育現場で子どもに寄り添い、その姿を的確に理解し具体的に支えていくことが出来る教員を育てることを目指しています。そのために、子どもや保護者を多面的に理解する手立ての一つとしてカウンセリング的な視点やインクルージョンの考え方を実践例を通して身に付けてもらいたい。また、教育者自身も様々な問題を一人で抱え込まず、支え合う関係が大切であることを伝えていきたいと考えています。今後、学校現場で多様な人的資源が協働できるような教育システムを研究していきたいと思っています。

1983年	東京大学 教育学部 卒業
1991年	東京大学大学院 教育学研究科 博士後期課程単位取得退学
2005年	創価大学へ赴任



学生の活躍



～自分の可能性を信じて～



箱根駅伝予選会に向けて

夢は箱根駅伝!チームで初出場を目指す!

2012年1月に開催される第88回箱根駅伝初出場に向けて、創価大学の駅伝チームが猛特訓中です。この夏は、山形県蔵王、長野県黒姫高原、菅平高原へ行き強化合宿を行いました。念願の初出場へ向けスタッフ・選手全員が決意を燃え上がらせています。箱根駅伝に出場するには予選会を突破する必要があります。予選会は10月15日(土)9:30から国営昭和記念公園(東京都立川市)にて行われます。この予選会で各校上位10名の合計タイムにより選ばれる6校と、第90回関東学生陸上競技対校選手権大会の成績に基づくポイント制との併用により選ばれる3校の計9校が選ばれます。

昨年の予選会では、36校が出場する中、創価大学は16位で、惜しくも予選突破はなりませんでした。出場可能な9位のチームとの差は、約15分30秒。一人が1分30秒以上タイムを上げれば出場ラインが見えてきます。

本年1月に行われた第87回箱根駅伝では、予選突破は逃したものの、関東学連選抜チームのメンバーとして、本学駅伝チームの樋口選手が往路4区を、福島選手が復路9区を多くの声援を受けながら快走し、見る人にすがすがしい感動を送ってくれました。本年のチームは、スター選手はいませんが、チーム力、団結力が特徴で、関東学生陸上選手権大会で3名が長距離種目で入賞するなど、皆で励まし合いながら成長してきました。

予選会に向けて、「今年こそ箱根駅伝出場を勝ち取り、創立者池田先生を始め応援してくださる方々にご恩返しします」と決意を固めています。

駅伝チームの瀬上監督は「創立者の精神で絶対に箱根駅伝出場を勝ち取ります」と語り、監督・コーチ陣、選手が一丸となって予選突破に向け挑戦しています。

皆様の応援を、よろしくお願いいたします。



2011年1月 往路4区を力走する樋口正明選手



経済学検定試験大学対抗戦 8 連覇!

強豪校を圧倒し連覇記録を更新、堂々の日本一に!

2011年7月3日(日)に行われた第20回経済学検定試験・大学対抗戦において、創価大学経済学理論同好会が、堂々の8期連続の優勝を達成しました。今回、京都大学・慶応義塾大学など11校16チーム105名が応募。創価大学から3チーム・25名が出場し、そのうち1チームが2位と220点差となる総合得点1630点での優勝となりました。優勝したチームには、信国桂子さん(経済学部4年/部長)、佐藤秀保さん(経済学部4年/副部長)の他、7名が参加しました。また、大学対抗戦参加者の中で、個人賞のトップに佐藤秀保さん、第5位に高瀬秀樹さん(経済学部3年)、個人として受験をした猪八重馨さん(経済学部3年)が、経済学検定試験ミクロ・マクロの受験者1156名中、第1位となりました。



留学生会チャリティーイベント

創価の絆は世界を包む!!

7月16日(土)17:00から、創価大学留学生会の主催による「Dear-Special Event」(日本語作文コンテスト)が、白鳥体育館で開催されました。これには、世界各国から来ている留学生を中心に、「このような時だからこそ、創価大学に留学する私たち留学生にできることは何か」とのテーマのもと行われたチャリティーイベントです。山本学長をはじめ本学教職員、日本人学生、近隣の方々など、約180名が参加し、盛大に開催しました。

「2011年3月11日」をテーマにした日本語作文コンテストでは、中国、韓国、シンガポール、台湾から本学に留学している男女5名の学生が東日本大震災の体験を通して様々な角度から意見や感想を日本語で作文にして発表しました。その後、韓国の学生によるピアノ演奏、韓国・台湾・フランス・カナダの学生のピアノ・ギター・バイオリン演奏、インドネシアの学生のオペラ独唱と続き、マジック、歌、国を超えての合唱などに会場からは大きな拍手が寄せられました。日本語作文コンテストの結果は、1位が金周ヒさん(教育学部1年生)、2位が日吉ヨシアキさん(経営学部3年生)、3位が張蓉さん(湖南師範大学からの交換留学生)、4位が2名、韓在慶さん(工学部1年生)と王佩如さん(別科生)でした。



クルーダンス部が日本一

クルーダンス部「D.I.CREW」が13年ぶりの日本一に!

創価大学クルーダンス部が、7月3日(日)、大阪市のクレオ大阪南で開催された「クレオ ダンスコンプレックス2011」に出場し、見事、優勝を勝ち取りました! この大会は、ヒップホップやジャズ、バレエなど多種多様なジャンルのパフォーマーが参加し、観客の投票で勝者を決定する新感覚のダンスコンテストです。予選を勝ち抜いた全国の30組がしのぎを削る大会となりました。クルーダンス部は、「練習・対話を通し創立者の示される建学の精神を深め合い、総合的な人間形成の場とする」とのテーマのもと、日頃の練習成果を存分に発揮し、確かな技術に裏打ちされた躍動感あふれる演技で、13年ぶりに日本一の栄冠に輝きました!



新授業『社会貢献とボランティア』開設!

授業を通し、本学受講者が震災地域におけるボランティアに参加



全国各地からボランティアに参加した学生たち▲

本学では2011年3月に発生した東日本大震災を受け、震災地域への復興支援と学生に対する社会貢献教育を目的として、「社会貢献とボランティア」授業を開設しました。

本授業は、学生がボランティア活動の参加を通し、震災復興の支援に貢献するとともに、社会貢献について考察しボランティア精神を養うことを目指しています。また、ボランティア活動のためのニーズ調査の計画作成、実際の支援活動とおしボランティア活動の実践能力を高めることを目的としています。

科目の受講者は事前に本学でのボランティア講習を受け、ボランティアの受け入れ機関に問い合わせ、ボランティアのニーズと活動内容を調査し、事前計画書の作成を行います。その後、ボランティアへ実際に参加し、ボランティア終了後にレポートの提出を行うことが一連の流れになります。学生自身の自主性が求められる授業科目であり、授業科目の履修をとおして、「社会貢献の意義」への考察、コミュニケーション能力、自己管理能力、率先性やリーダーシップなど多岐にわたる能力養成を目標としています。

実際にボランティアに参加した学生からは「被災者の方を被災者としてみるのではなく、同じ人として普段どおり接していくことが大切だと感じた」(田中精一さん、法学部3年生)、「被災された方々が大変な状況でも明るく前向きに生活されている姿を見て、人間の強さを学び、私たちの方が励まされました」(大場玲奈さん、法学部1年生)等、ボランティアに参加しての感想が寄せられました。

また、担当教員である佐々木諭先生は本授業について、「創価大学

に学生のボランティア活動を促進し、社会貢献を学ぶ授業が開設されたことは大きな意義があり、建学の精神である『人間教育』を具現化する試みであると思います。ボランティアに参加した学生も、人との触れ合いを通して人間として一段と成長しています」と期待を寄せております。



崩れた本棚の整理作業にあたる学生



◀積み上げられた瓦礫(岩手県大船渡市)

主な来学者

世界の学術機関の代表者が、教育・文化・平和交流のために来学されました。

7/12(火)

韓国 忠州大学
張炳輯総長一行が来学

国立忠州大学から、創立者池田大作先生に「名誉経営学博士号」、香峯子夫人に「名誉碩座教授称号」が授与されました。これは、創立者夫妻の韓日友好への尽力、世界平和への貢献、人類社会の発展に寄与する人材を輩出してきた業績を讃え贈られたものです。



7/29(金)

フィリピン 国立パンガシナン大学
ビクトリアーノ・エスティエラ学長
一行が来学

国立パンガシナン大学から、創立者池田大作先生に「名誉人文学博士号」、香峯子夫人に「名誉教授称号」が授与されました。これは、創立者夫妻の世界平和と教育への献身を讃え贈られたものです。



前期卒業式 大学院・大学・短大の87名に学位記授与



創価大学・創価女子短期大学の2011年度前期卒業式が、9月17日(土)に開催されました。この卒業式で、大学院博士前期課程5名に修士、法科大学院生9名に法務博士(専門職)、学部生67名に学士、創価女子短期大学の学生6名に短期大学士の学位記が授与されました。創立者は卒業生に対し、「わが学舎を巣立つ皆さんは、一人ももれなく全員が、大使命の逸材です。どうか、大変であればあるほど、創価の負けじ魂を燃え上がらせて、前進また前進を合言葉に、堂々と人生を勝ち開いていってください。」と慶祝のメッセージを寄せられ、喜びに満ちあふれた晴れの門出の式典となりました。

新司法試験 2011年新司法試験に12名が合格

9月8日(木)、法務省から、法科大学院修了者を対象とした2011年の新司法試験の合格者が発表されました。法務省の発表によると、全国の受験者数8,765名のうち、合格者は2,063名でした。

本学法科大学院からは、86名が受験し、12名が合格。これまで6回の新司法試験の合格者は83名となりました。これにより、開学以来の新旧司法試験を合わせた合格者は累計219名となりました。

外務省専門職員採用試験に合格！

本学大学院生が2011年度外務省専門職員採用試験に合格しました！



この度、2011年度外務省専門職員採用試験に村田優一さん（法学研究科1年）が約20倍の倍率を突破し、見事合格することが出来ました。本学として累計53人目となる合格者となります。

村田さんは現職の外交官である父の影響を大きく受け、高校1年生より外交官を目指されました。大学入学後は寮生活を経験。宝友寮の留学生残寮生として寮建設にも日々奮闘し、海外からの留学生にとってなくてはならない存在に。大学3年次、外交官試験に向けて勉強が本格化し、後輩育成のために留学生残寮生を継続するかどうかが葛藤をしますが、意を決して夢の実現に向けて卒業を選択。それから一日10時間におよぶ勉強に挑戦し、見事この度の2011年度外務省専門職員採用試験に合格することが出来ました。入省後は1年間の研修を経て、本格的に海外勤務となります。

目標は「誰からも信頼される人材になること」。いずれは日本の国益のみならず、人類益に尽くせる人材に、そして、創立者の構想を実現できる人材に、と溢れる情熱を語ってくれました。

通信教育部

伝統の夏期スクーリングを開講



創価大学通信教育部の夏期スクーリングが8月7日（日）から21日（日）までの15日間開催され、アメリカ、フランス、中国など海外12カ国からの参加者も含め、延べ約7000名の受講者が参加しました。また、東日本大震災後の中、宮城、福島、岩手からも60名を超える方々が強い向学心を持ち、創大キャンパスで学びました。

8月16日（火）には、通信教育部に学ぶ現役生の集い「光友会」の全国大会が開催されました。創立者池田大作先生がメッセージを寄せ、「光友会の皆様は、互いに励まし合いながら、わが職場で、わが地域で、わが家庭で、自らが不屈の英知の太陽と輝きながら、苦しみ悩む多くの人々の心を照らし、さらには、混迷の世界の未来を燦然と照らしてってください（抜粋）」と学びに徹する通教生に励ましを贈りました。

学長杯

少年少女サッカー大会

9月4日（日）・10日（土）の2日間にわたり、第14回創価大学学長杯サマージュニアカップ2011（少年少女サッカー大会）が本学の第一グラウンド、ビクトリーグラウンド、総合体育館で開催され、八王子市を中心に小学1・3・5年生チーム（全36チーム）が参加しました。選手たちは元気一杯に日頃の練習成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。

ポストカード・学生歌集がリニューアル！

ポストカードセット・学生歌集CDがリニューアルして新発売！ポストカードセットは6枚入り。学生歌集CDは学生歌・短大歌・寮歌を収録♪受験生の激励や、友人へのお手紙など、様々な場面でご活用ください。

ホームページからご注文頂けます。

通信販売・商品に関するお問合せは、
創学サービス購買課 TEL:042-691-9391 HP: <http://sogakuservice.co.jp>



ポストカードセット
¥300

学生歌集 CD
¥1,000

交換留学生修了式

創大で築いた友情は永遠！！



7月21日（木）17:00から本学本部棟14階の国際会議場で、モスクワ大学やモンゴル国立大学、メキシコ・グアナフアト大学など海外30大学から本学で学んでいた交換留学生・SUA研修生50名の修了式が行われました。

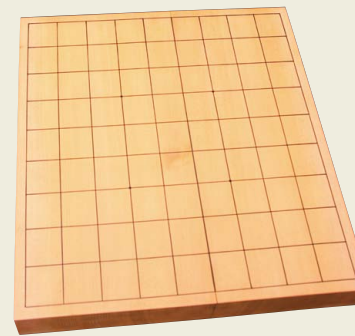
修了式では、はじめに田代康則理事長より、創立者池田大作先生からのメッセージが紹介されました。メッセージの中で創立者は、「東日本大震災の深刻な影響のなかでも、皆さん方は、勇敢に忍耐強く学び抜いてくださった。何ものにも負けない、見事な青春の勝利の歴史を残してください。皆が感動しています」「皆さん方は、一人も残らず、祖国の未来を担い、人類の未来を担いゆく、黄金の逸材であります。使命が大きいゆえに、これからも人一倍、苦労も多いに違いありません。しかし、労多きことを名誉と思い、誇りと思って、学び進んでいってください」と、各国に帰っていく留学生たちに万感の御期待を寄せられました。

その後、留学生を代表して、フィリピン大学交換留学生のフランシスコ・ライリーンさん、アメリカ創価大学研修生のナン・ミ歇尔さんの2名がスピーチを行いました。ライリーンさんは、「この素敵な創価大学を創立して下さった創立者に感謝しています。この大学によってたくさんの人々の夢が叶いました。私も、その中の一人です。これから私たちはそれぞれの国へ帰り、それぞれの道を歩みます。しかし、私たちがここで築いた絆がなくなるわけではありません。永遠に繋がっています。1年間、本当にありがとうございました」と、またミ歇尔さんは、「留学に来る前、卒論のことや卒業後の進路について悩んでいました。先輩からのアドバイスもあり、日本の創価大学での留学生活をおもいきり充実したものとしようと決意し、来日しました。創価大学で素晴らしい友情を築くことができ、また、数多くのことを学ぶことができ、『今』の大切さを強く実感しています。周りの皆さんにとっても感謝しています。本当にありがとうございました」と感謝を述べました。

最後に山本英夫学長は、「数ある大学の中から、創価大学にお越しいただき、心から感謝申し上げます。今回、修了し、帰国する皆さんは未曾有の大震災という大変な経験をしました。先日開催された留学生主催のチャリティーイベントに参加しましたが、皆さんのスピーチを伺い、留学生一人一人が様々な状況の中、日本に留まったり、戻ってきたことがよく分かりました。どうか創大で培った友情を大切に、母国に帰っても頑張ってください」と激励しました。交換留学生からは、「創価大学に来て本当に良かった」「卒業したら（創価大学）別科に入学したい」「ここで築いた友情を一生大切にします」等、喜びの声が上がりました。

創価大学には、現在45カ国・地域128大学と交流を結び、毎年約300名の留学生がキャンパスで学んでいます。

第2回滝山祭記念の品「将棋盤」



この将棋盤は、創立者 池田先生が1973年7月、学生の1人と将棋を指した際に、使用したものです。第2回滝山祭のこの日、創立者は準備にあたった寮生たちの心づくしのもてなしを受けながら、触れあう学生、父兄、来賓のほとんどの人に対する歓談と激励に時間を使い、どこにあってでも厳愛と真心とで接する姿は、まさに父のようでした。創立者は、催し物の中で将棋の「名人戦」が行われていることを知ると、その場に足を運び、将棋愛好会のメンバーと対局をします。小説『新・人間革命「創価大学」の章』にはその時の様子が次のように描かれています。

「伸一の鋭い攻めに、相手をした学生は、30分ほどで投了した。

学生は、元気な声で言った。『今度対戦する時は必ず勝ちます！』伸一は答えた。『将棋だけでなく、すべての面で、私に勝ってほしい。学問でも、言論でも、全部、私を凌いでほしい。それでこそ私は安心なんです』限りなく大きな信頼と期待を感じさせる、胸に染みる言葉であった。その学生は、決意に瞳を輝かせながら、深く頷くのであった。」

※「伸一」とは、創立者のこと



創価大学・創価女子短期大学の**公募推薦の出願**が始まります!!

創価大学

2011

11/1火

創価女子短期大学

2011

10/26水

11/4金

第41回 創価大学

第27回 創価女子短期大学

創大祭 & 白鳥祭

10/9・10 開催!!

2011年10月9日(日)、10日(祝・月)に第41回創大祭・第27回白鳥祭を開催いたします。クラブ団体やゼミナールを中心に、教室での展示や模擬店、音楽系クラブによる演奏会などを予定しています。

※8日(土)には、「創価栄光の集い」を開催する予定です

PROGRAM — プログラム —



オープニングパレード



創価栄光の集い

みんなも来てね♪

2012年度 入学試験日程

創価大学			
	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2011/11/1(火)~8(火)	2011/11/19(土)	2011/11/30(水)
大学入試センター試験利用入試(前期)	2012/1/4(水)~13(金)	2012/1/14(土)、15(日) ※センター試験を受験	2012/2/9(木)
一般入試	2012/1/4(水)~27(金)	経済・法・教育学部 2012/2/13(月)	2012/2/22(水)
		経営・文学部 2012/2/14(火)	
		工学部 2012/2/15(水)	
大学入試センター試験利用入試(後期)	2012/3/1(木)~9(金)	2012/1/14(土)、15(日) ※センター試験を受験	2012/3/19(月)

創価女子短期大学			
	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2011/10/26(水)~2011/11/4(金)	2011/11/12(土)	2011/11/18(金)
一般入試	2012/1/4(水)~2012/1/23(月)	2012/2/5(日)	2012/2/10(金)

創大 短大 キャンパスガイド2012

創価大学、創価女子短期大学の入試要項(願書)や、キャンパスガイド2012がご請求いただけます。請求方法は以下の通りです。ご希望の方はぜひご利用ください。

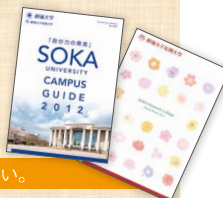
☎ テレメール 以下に電話し、資料番号を登録してください。

IP電話番号 050-8601-0101

※お問い合わせは 050-8601-0102へおかけください。

資料番号 入試要項(願書) 160189(短大:174150)
過去の入試問題集(1年分) 157070(短大含む)
創大キャンパスガイド2012 151891(短大:154151)

●インターネット(PC・携帯電話 <http://telemail.jp>)からも請求できます。



資料請求用QRコード

創大ホームページ

丹木の歳時記より



文学の池の蓮が
綺麗に咲き薫っています。



白と淡い桃色のコントラストが
美しいです。

編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆さまの声を募集しています。感想などがありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしく願いたします。

※皆さまからいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。

FAX:042-691-9300 E-mail:hiroba@soka.ac.jp

SUN
Soka Univ. News

Soka University News 71号

●編集発行 / Soka University News 編集委員会 ●発行責任者 / 田代 康則

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300

ホームページ / <http://www.soka.ac.jp> 2011年10月発行



揮発性有機化合物を低減できる
大豆インクを使用しています。